

1. 日本病院薬剤師会作成「病院薬剤師が学習すべき薬剤領域の情報リテラシー解説集」について

日本病院薬剤師会より、「病院薬剤師が学習すべき薬剤領域の情報リテラシー解説集」が公開されております。これは、病院薬剤師の医療情報システムへの理解の一助とするため、医療情報を適切に取り扱うために学習すべき内容について簡単に示した資料となっているとのことです。今後、医療においてデジタル技術の活用が加速していくことが推測される中で、自治体職員の方々にもご参考になるものと思われました。適宜、医療関係の実務を担当される職員の方々に共有いただけますと幸いです。

<https://www.jshp.or.jp/activity/guideline/20230608-1.html>

2. 4月28日（金）に実施した「第2回電子処方箋推進協議会」のご報告

会議内容について簡単ですが共有させていただきます。日々の業務の中で、電子処方箋の導入を検討されている医療機関・薬局等にご紹介いただけますと幸いです。

<概要>

・山形県酒田地区で電子処方箋のモデル事業に参画いただいているアイン薬局酒田店の状況、薬局業界における見通しについて、株式会社アインファーマシーズ代表取締役社長大石氏から紹介。

・全国の電子処方箋導入状況や課題対応状況について弊省から報告し、病院等を中心とした更なる面的拡大の取組を開始している旨を紹介。その他、マイナンバーカードの保険証利用促進や国民向け周知広報拡充、電子処方箋の現場から見てきた今後の医療DXに向けての横断的な課題について議論。

<資料>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32682.html

（別添ファイルは病院等を中心とした更なる面的拡大の取組について、上記資料2より抜粋した資料を最新情報に一部改変）

<議事録>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33181.html

3. 6月8日（木）に実施した「第1回電子処方箋等推進ワーキンググループ」のご報告

この会議は、従前非公開で行っていた「オンライン資格確認の基盤を活用した電子処方箋推進会議」を、健康・医療・介護情報利活用検討会下のWGとして設置し直し、医療DXの推進に関する工程表実行にあたり、システム面を中心に、他の医療DXの取組との連携・整合を図りつつ、原則公開の下で関係者等の理解を得ながら議論を進めていく会議です。

会議内容について簡単ですが共有させていただきます。日々の業務の中で、導入を検討されている医療機関・薬局等にご紹介いただけますと幸いです。

<概要>

- ・令和5年10月にリリース予定である、リフィル処方箋や口頭同意、マイナンバーカードを利用した電子署名や、令和6年3月にリリース予定である調剤済電子処方箋の預かりサービスについて、スケジュールや仕様等について紹介・議論。

- ・今後の機能拡充を予定している院内処方情報の取扱いや、電子処方箋用法コード・用法マスタの整備についても議論。

<資料>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33479.html

4. 電子処方箋対応施設について

電子処方箋対応施設は、下記のページで公開しており、都道府県別にもわかるようになっています。社会保険診療報酬支払基金のポータルサイトで電子処方箋の運用開始日を入力して一定期間後に掲載されるようになっています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/denshishohousen_taioushsetsu.html